



個人投資家のETF利用状況 (アンケートの調査結果)

Exchange & beyond

株式会社 東京証券取引所

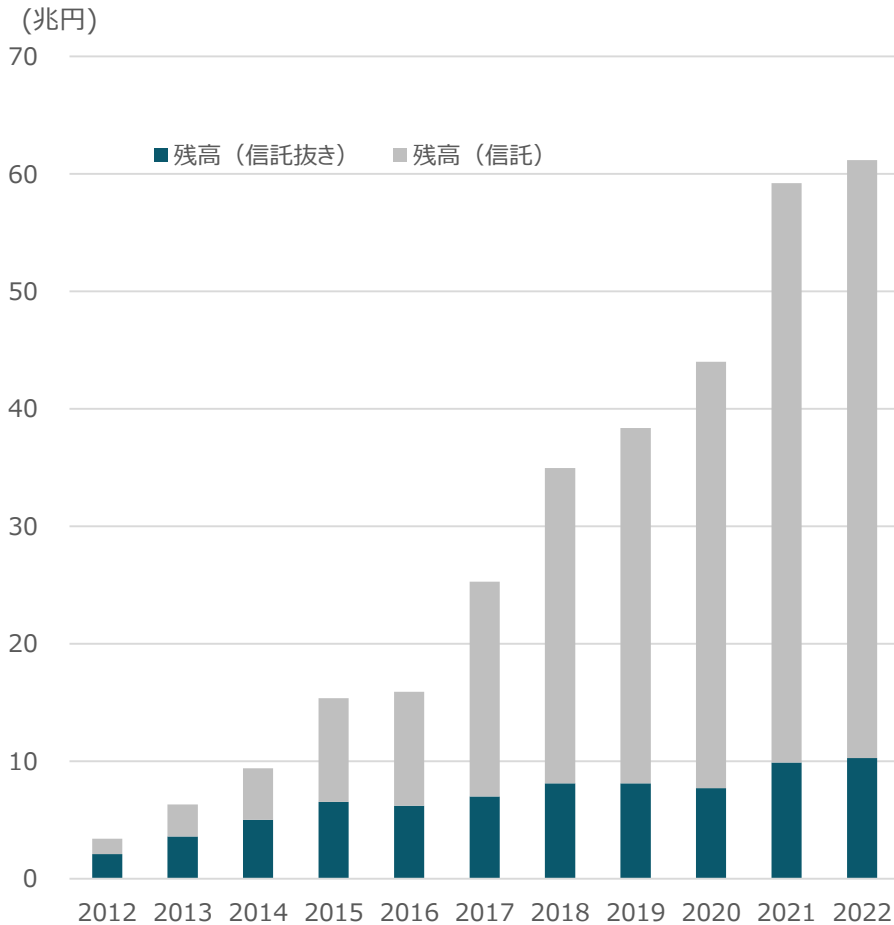
2023年2月

個人投資家のETF利用動向

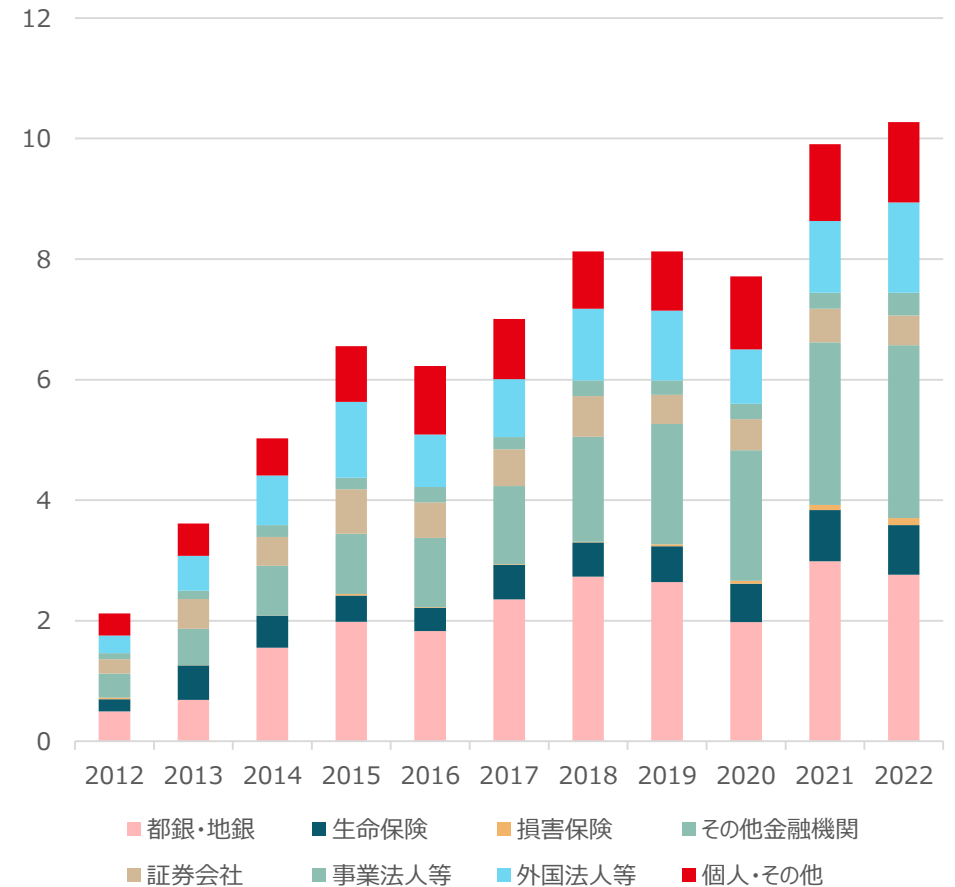
市場規模の全体感

- ETF市場全体の残高60兆円ほどのうち、信託分≒日銀分を除くと約10兆円
- 個人が保有するETFの残高は年々増加し、2022年には1.3兆円分に達する

日本のETFの純資産残高



信託銀行以外の内訳の推移



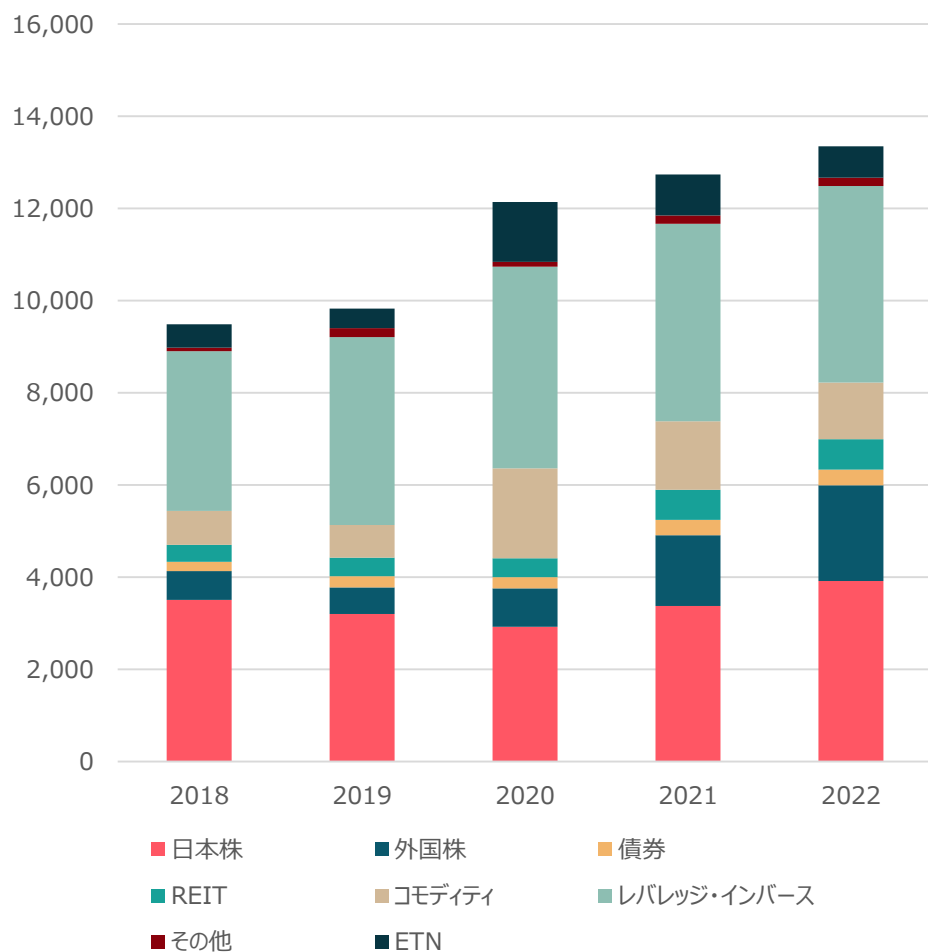
※東京証券取引所 ETF受益者情報調査結果（2022年7月）より

本調査結果における個人（個人・その他）は、日本国籍の個人に加え、国内の法人格を有しない団体を含む。以下同じ

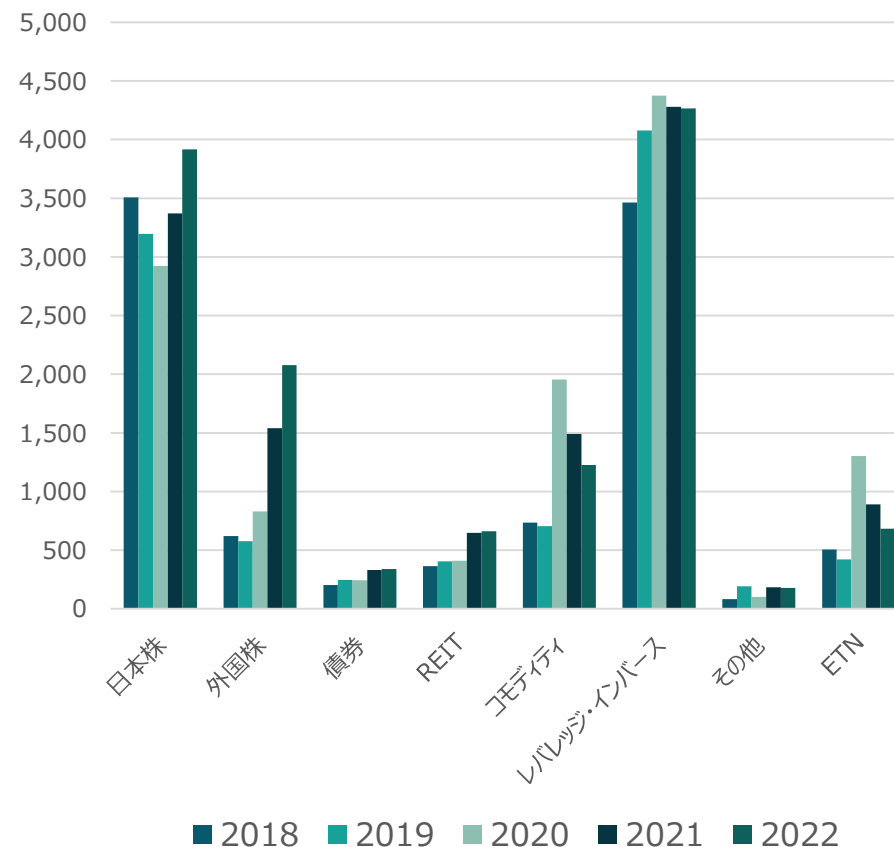
個人投資家による保有動向（保有残高ベース）

- 個人投資家によるETFの保有残高は継続的に増加
- レバインバ・日本株・外国株ETFの保有が多く、特に外国株ETFの伸びは顕著
- ETFが海外への分散投資ツールとして注目されていることがうかがえる

個人投資家の保有残高推移（億円）



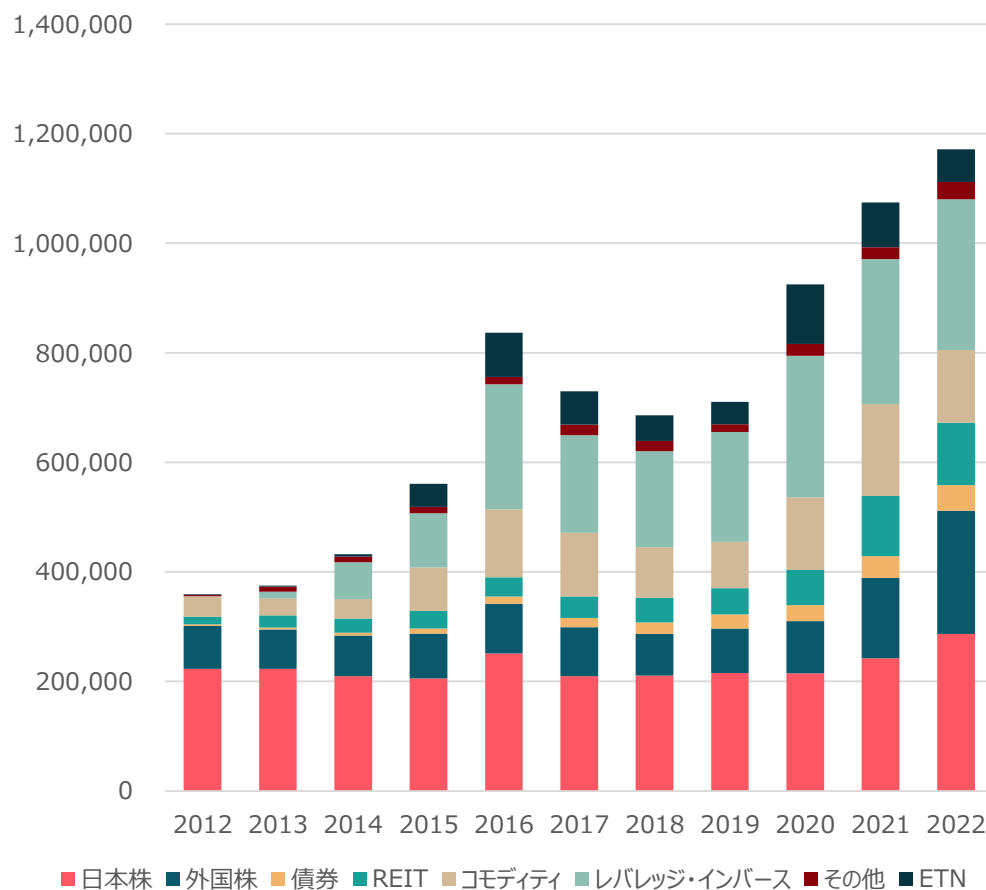
（カテゴリ別の増減・億円）



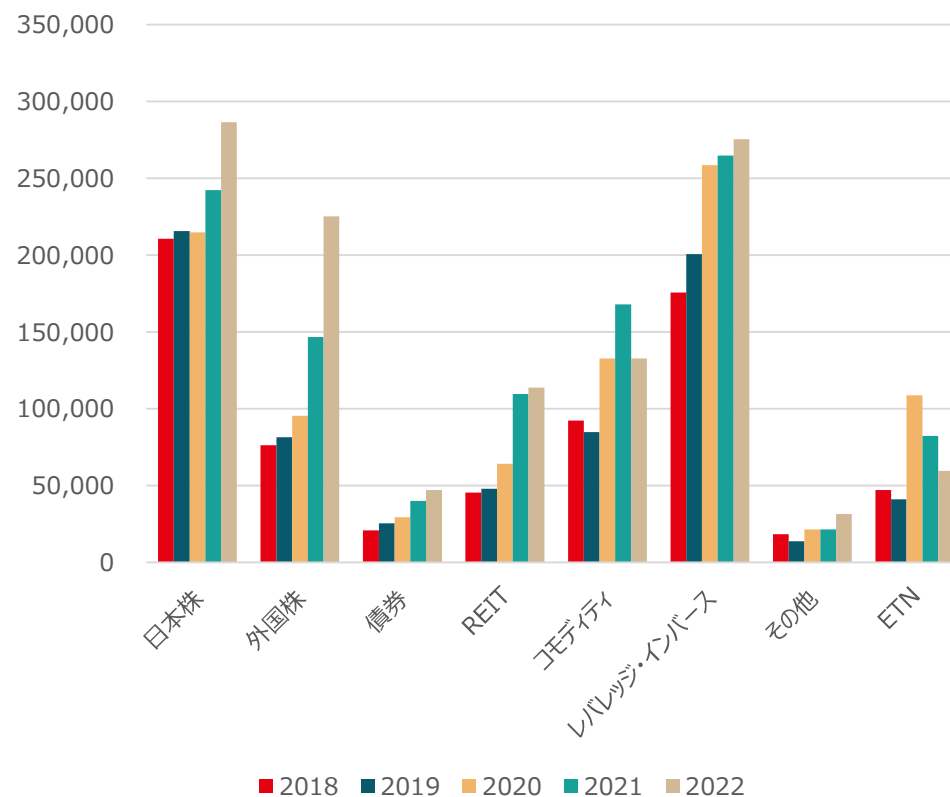
個人投資家による保有動向（保有者数ベース）

- 保有者数（※受益者数）も117万件を突破しており、継続的に増加
- 利用者の裾野も着実に拡大していることがうかがえる
- 特に、外国株、日本株、REIT等のETFで増加

個人投資家の保有者数の推移（カテゴリ別）



(カテゴリ別の増減)

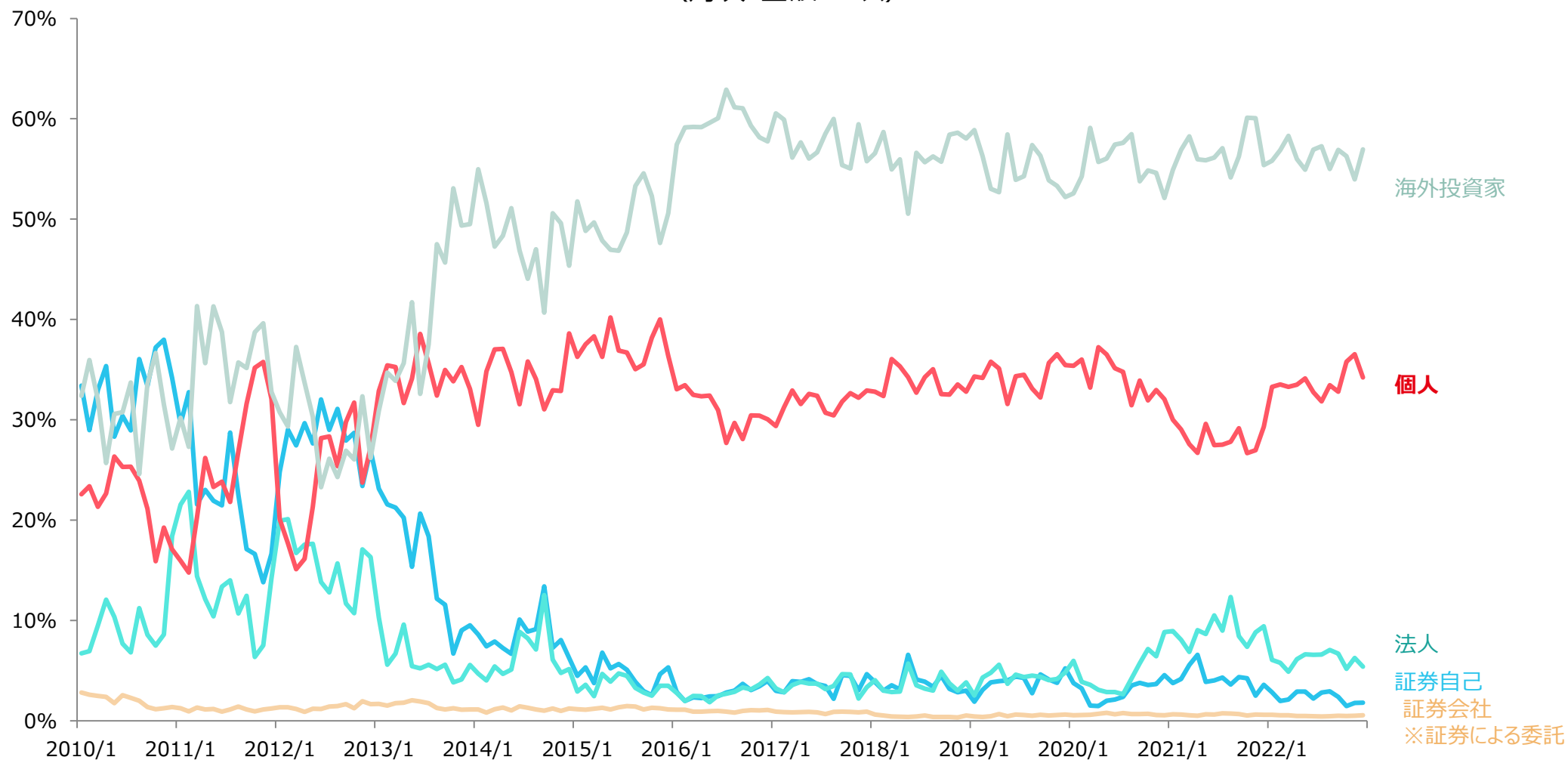


※受益者数は、各ETFの保有者数を単純に合算した延べ人数であることに注意。名寄せを行っていないため、例えば1人の投資家が10種類の銘柄を保有していた場合、受益者数は10としてカウントする。

個人投資家による売買動向

- 代金ベースで、取引所取引の4割弱が個人による売買

東証におけるETF市場の投資部門別シェア
(月次・金額ベース)



※東証 投資部門別売買状況より：<https://www.jpx.co.jp/markets/statistics-equities/investor-type/02.html>

ETFアンケートの結果



- 証券会社に協力いただき、各社に口座を保有する個人顧客に対してアンケートを実施
- ETFへの興味が比較的高い層を対象に、1万件超の回答を収集

調査の概要

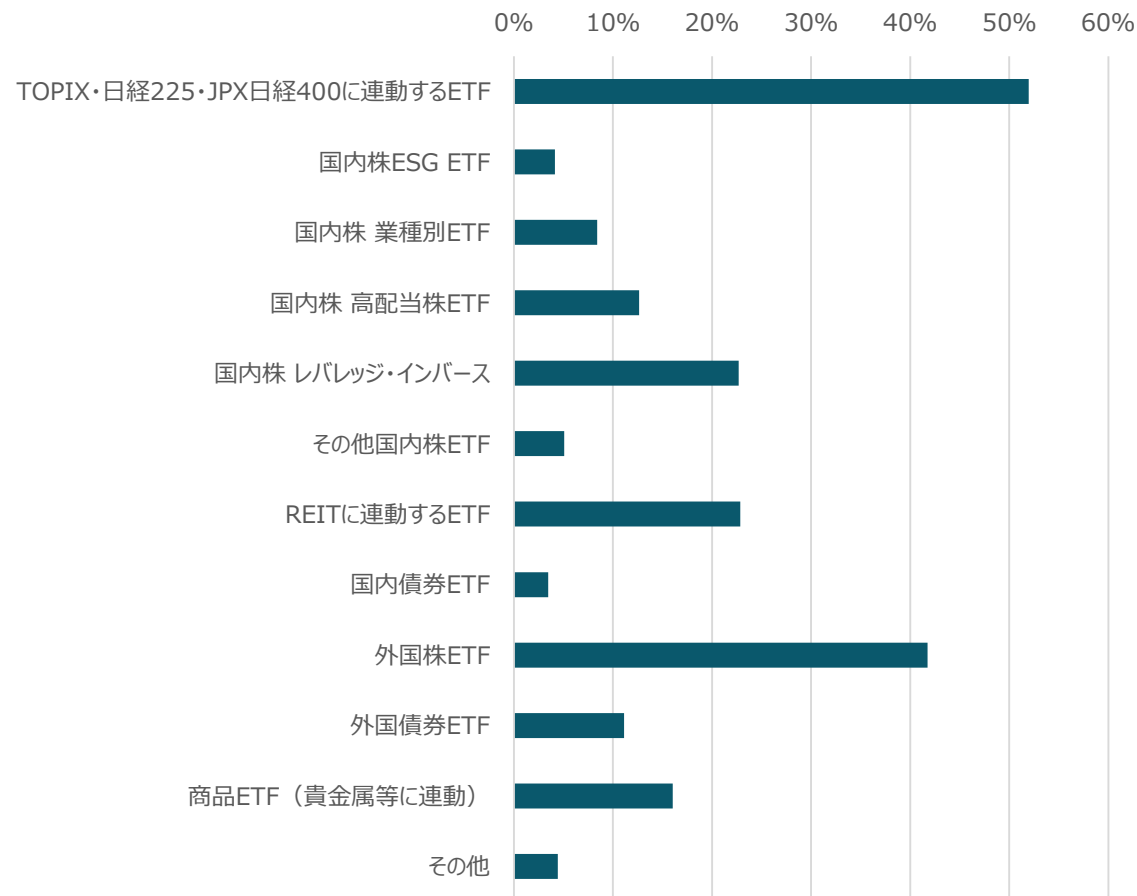
- ・実施期間：2022年7月～10月
- ・実施方法：
 - 東証がアンケートの設問を作成
 - 協力いただいた証券会社の顧客に対して、各社からアンケートへの回答を依頼
 - 主に、東証上場ETFの保有・取引の経験がある投資家層を対象に実施
- ・有効回答数：合計11,112件

※1人の投資家がアンケートに協力いただいた証券会社の2社に口座を保有しており、両社でアンケートに回答した場合、回答としては2件としてカウントしている

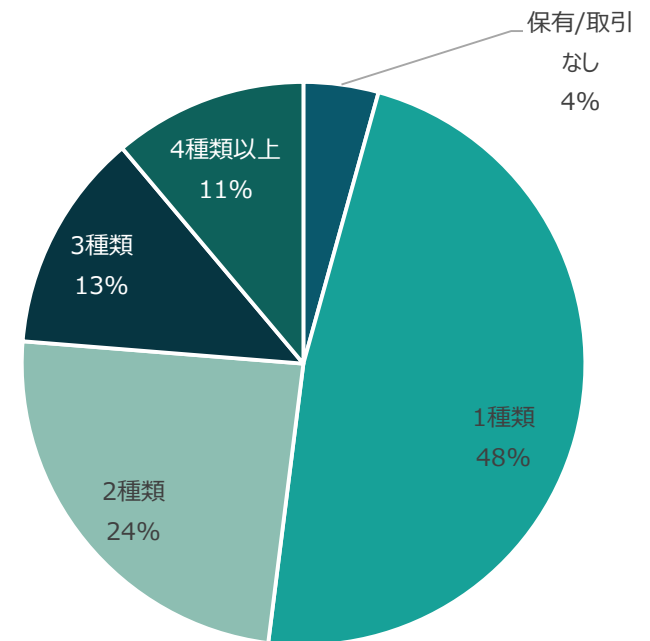
利用している東証上場ETFのカテゴリ

- 日本株の主要指数（TOPIX・日経225）、外国株のETFは4～5割の投資家が利用
- 次いで、REIT、レバインバ、コモディティ、高配当、外国債券の順で利用されている
- 多様なカテゴリを保有する投資家は少なく、8割超が3カテゴリ以下

現在保有している/過去1年で取引したETF（複数回答可）



保有/取引しているETFのカテゴリ数



利用している東証上場ETFのカテゴリ

- TOPIX・日経225ETFの保有者(52%)のうち、外国株ETFを保有するのは1/3程度
- 一方、外国株ETFの保有者は42%に達している

特定のカテゴリのETFを持っている人が、他のETFも持っているかどうか

= 例えばTOPIX・日経225ETFを保有し、かつ外国株ETFを保有しているのは19%

	TOPIX・日経225・JPX日経400に連動するETF	国内株ESG ETF	国内株業種別ETF	国内株高配当株ETF	国内株レバレッジ・インバース	国内株レバ株ETF	国内株REITに連動するETF	国内債券ETF	外国株ETF	外国債券ETF	商品ETF (貴金属等に連動)	その他	(全体)
TOPIX・日経225・JPX日経400に連動するETF	18%	2%	4%	6%	12%	2%	13%	2%	19%	6%	9%	0%	52%
国内株ESG ETF		1%	1%	1%	1%	1%	1%	1%	2%	1%	1%	0%	4%
国内株業種別ETF			1%	3%	3%	1%	3%	1%	4%	2%	2%	0%	8%
国内株高配当株ETF				2%	3%	1%	6%	1%	7%	3%	3%	0%	13%
国内株レバレッジ・インバース					5%	1%	5%	1%	8%	2%	5%	0%	23%
国内株レバ株ETF						1%	2%	1%	2%	1%	1%	0%	5%
国内株REITに連動するETF							2%	2%	13%	6%	6%	0%	23%
国内債券ETF								0%	2%	2%	1%	0%	3%
外国株ETF									11%	8%	8%	0%	42%
外国債券ETF										1%	4%	0%	11%
商品ETF (貴金属等に連動)											2%	0%	16%
その他												3%	4%

TOPIX・日経225ETFを保有かつ外国株ETFを保有

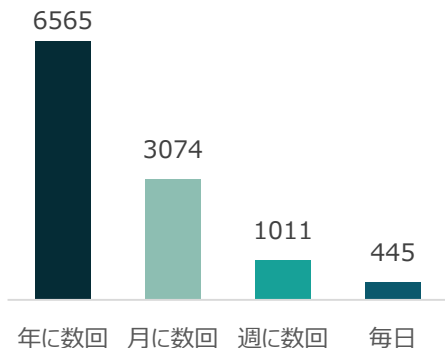
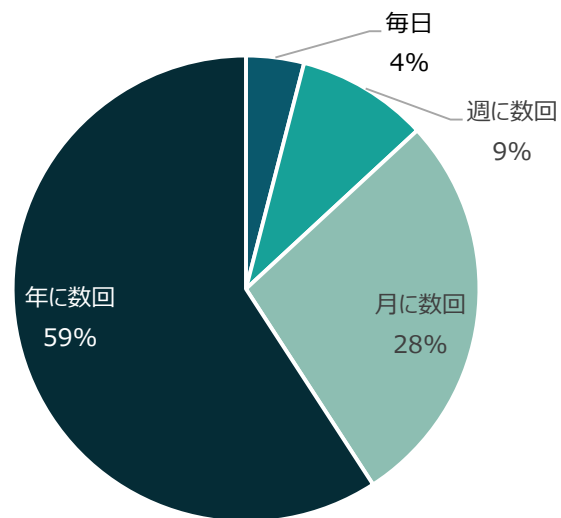
TOPIX・日経225ETFを保有する投資家全体

TOPIX・日経225ETFのみを保有

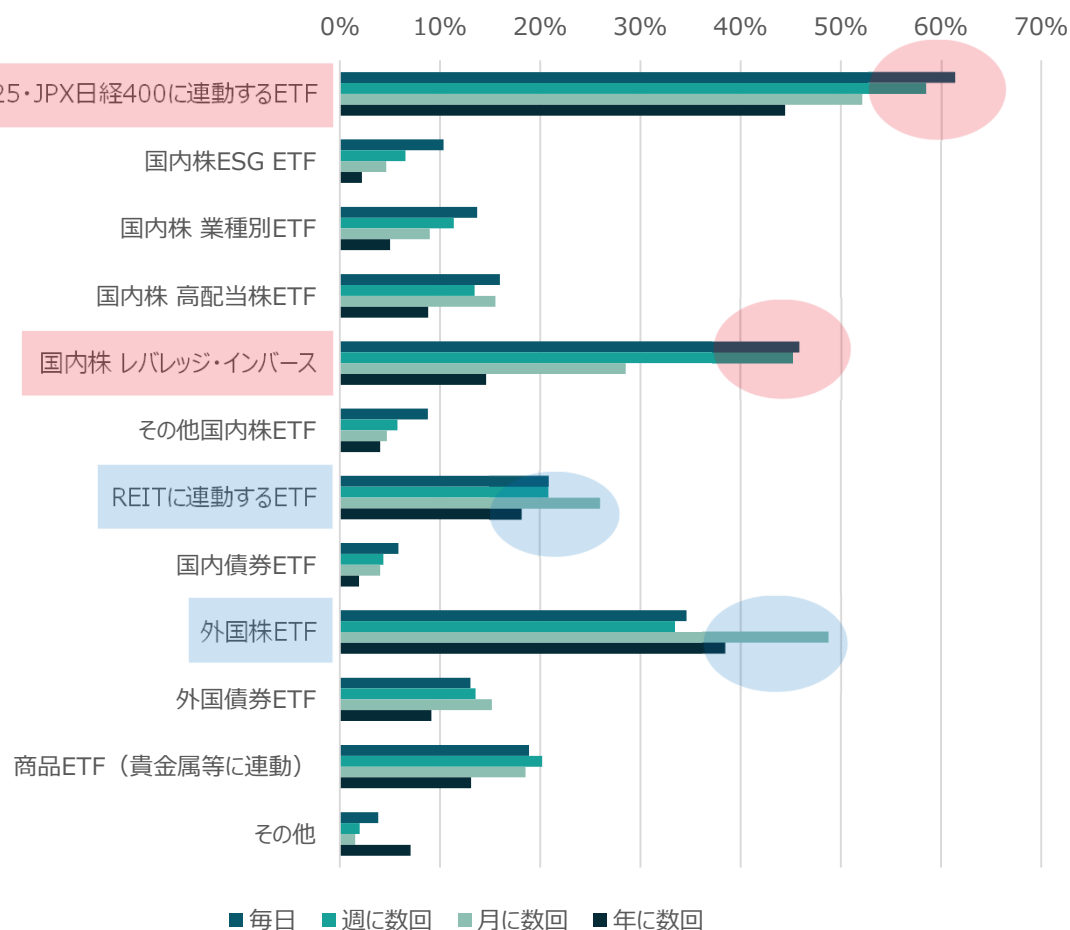
※例えば、全カテゴリ保有している投資家があった場合は、「TOPIX・日経225×外国株」でも「TOPIX・日経225×REIT」でも重複してカウントされるため、「TOPIX・日経225」の割合を合計しても52%にはならない

- ETFの取引頻度は、月に数回以下という投資家が全体の9割近く
- 大半を占める取引頻度が比較的低い投資家では、外国株やREITのETFの利用率が高く、分散や利回りを狙った長期投資ツールとして選好されていることがうかがえる
- 取引頻度が高い投資家では、日本株ETFやレバインバの利用が多い

東証上場ETFの取引頻度

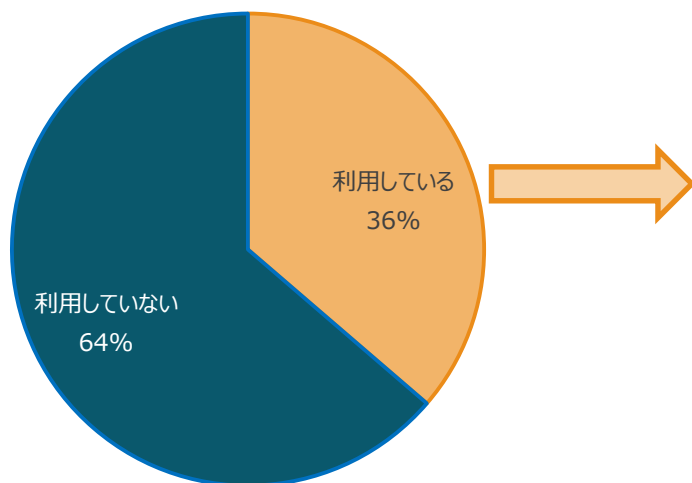


取引しているETFのカテゴリ（投資家の取引頻度別）

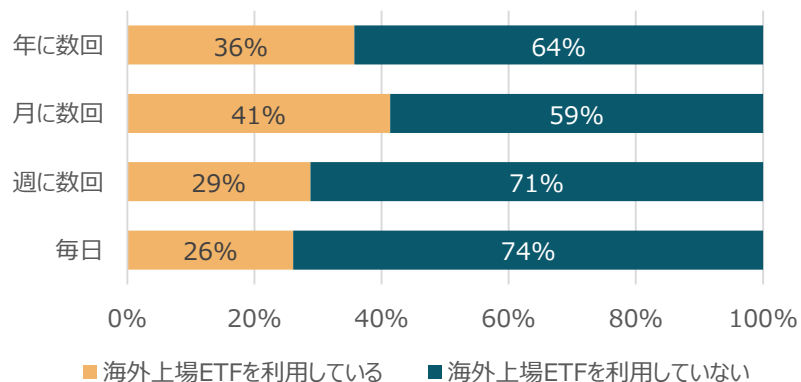


- 4割弱の投資家が海外上場ETFを利用
- 東証上場ETFの取引頻度が低い投資家層の方が海外上場ETFを利用している傾向
- 取引頻度は東証上場ETFと大きくは変わらない

海外ETFの利用状況



(東証上場ETFの取引頻度別)



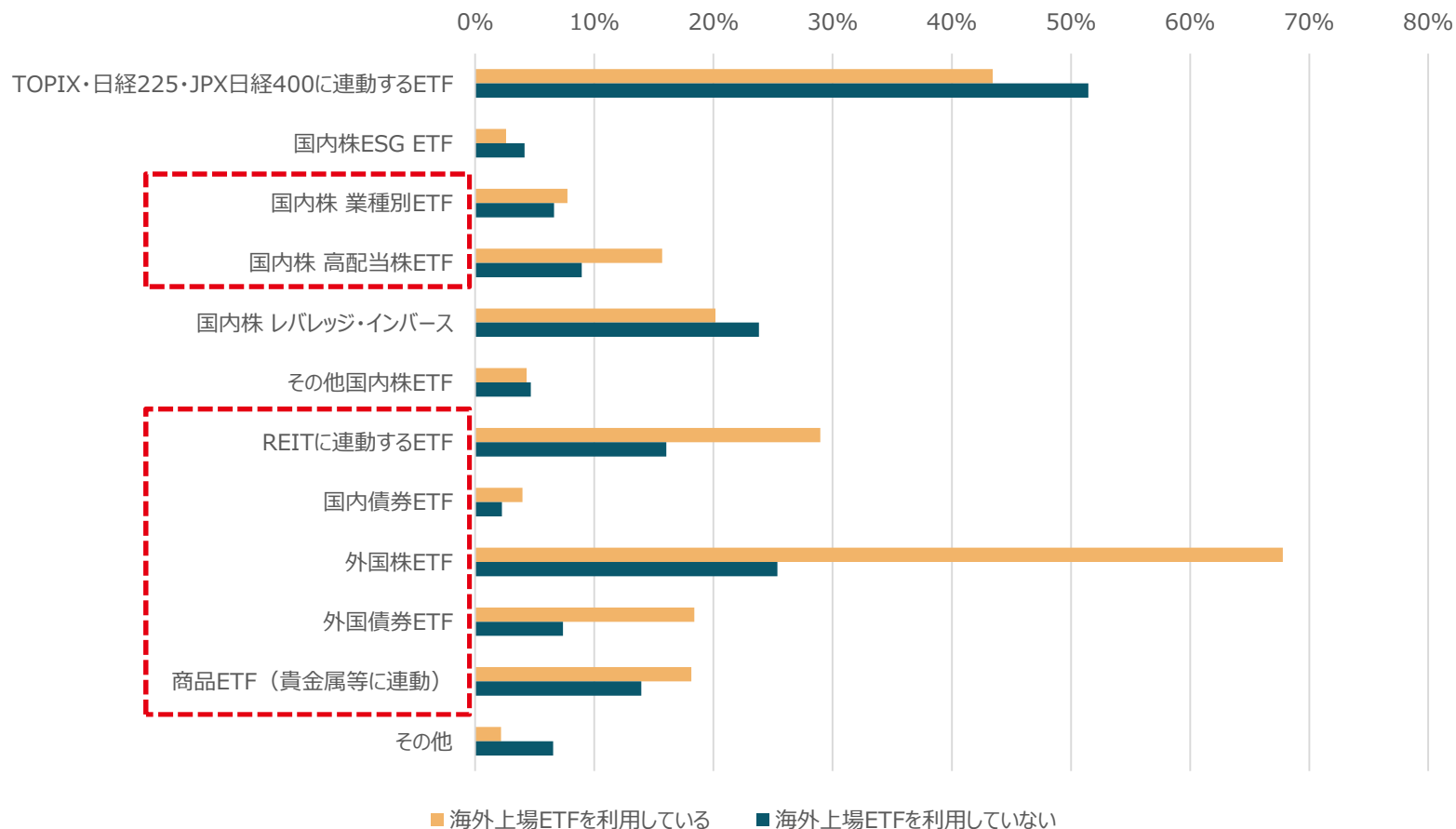
東証上場・海外上場の両方を利用している人の取引頻度の分布

		海外上場ETFの取引頻度			
		毎日	週に数回	月に数回	年に数回
東証上場ETF の取引頻度	毎日	0.8%	0.4%	0.7%	0.9%
	週に数回	0.3%	2.3%	2.8%	1.8%
	月に数回	0.3%	2.1%	20.4%	8.8%
	年に数回	0.6%	1.2%	12.6%	43.8%
計		2.0%	6.1%	36.6%	55.3%

海外上場ETFの利用状況

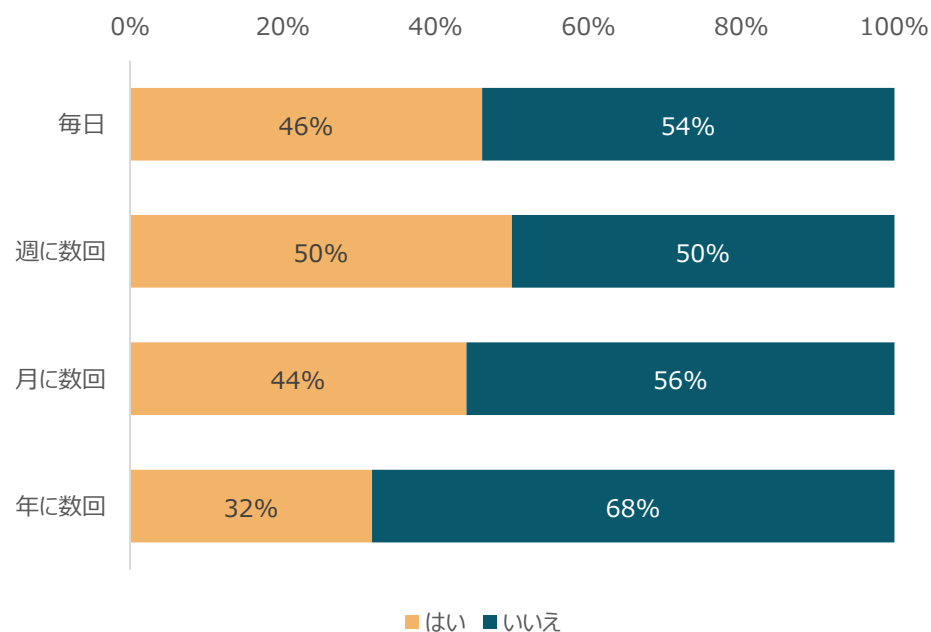
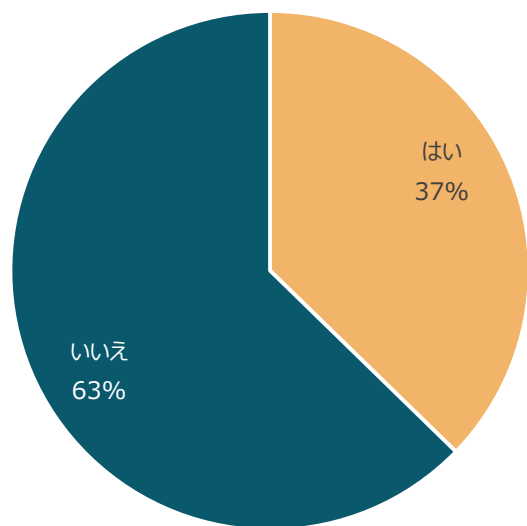
- 海外上場ETFを利用している投資家は、東証上場ETFにおいても、利回りが高いETFや外国株・外国債券へ連動するETFの利用率が高い傾向
- 長期分散投資のツールとして海外上場ETFも活用されていることがうかがえる

海外上場ETFの利用有/無別の東証上場ETFの利用カテゴリ



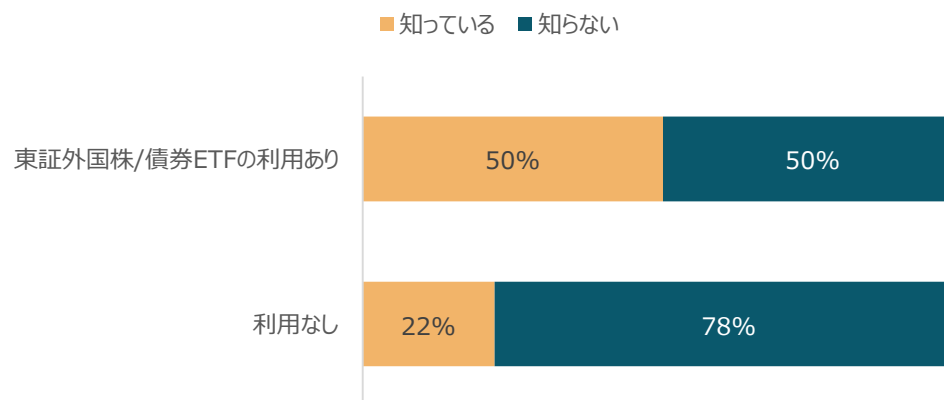
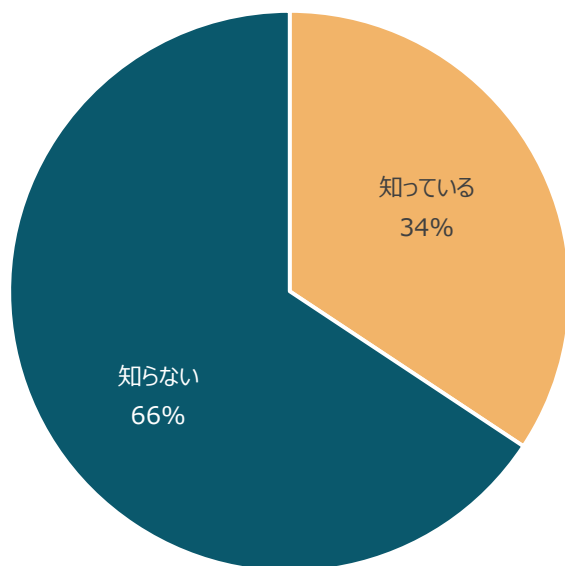
- 流動性の向上について全体の認知度は4割弱
- ETFの利用頻度が高い層ではより認知されている傾向

直近1年程度で、東証上場ETFは流動性が拡大して、売買が増えているのはご存じですか？



- 全体の認知度は3割強
- 外国株・債券ETFを利用している投資家に限ると半数が認知

2020年に東証上場外国株ETF・外国債券ETFに適用された
「二重課税調整」をご存じですか？

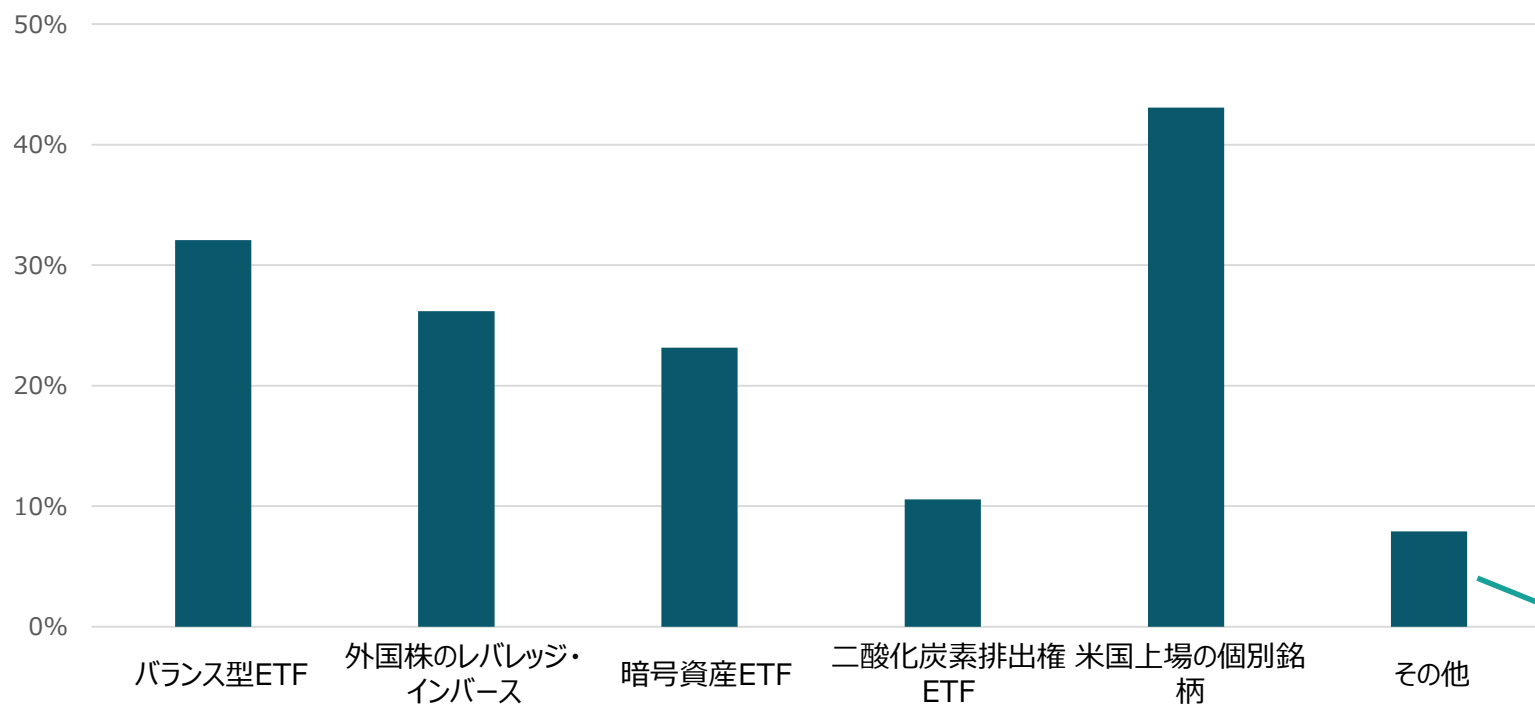


※二重課税調整制度の対象となる可能性が高いETFについては下記をご参照ください。
<https://www.jpx.co.jp/learning/basics/tax/>

東証で売買出来たら良いと思う商品

- 4割程度の投資家が、米国上場の個別株を東証で売買することを希望
- 次いで、バランス型ETF、外国株レバインバ、暗号資産などを希望
- 取引頻度が高い投資家は、外国株レバインバ・バランス型への希望が多く、取引頻度が低い投資家からは米国個別株への希望が目立った

他にどのような商品が東証市場で売買できるといいと思いますか？



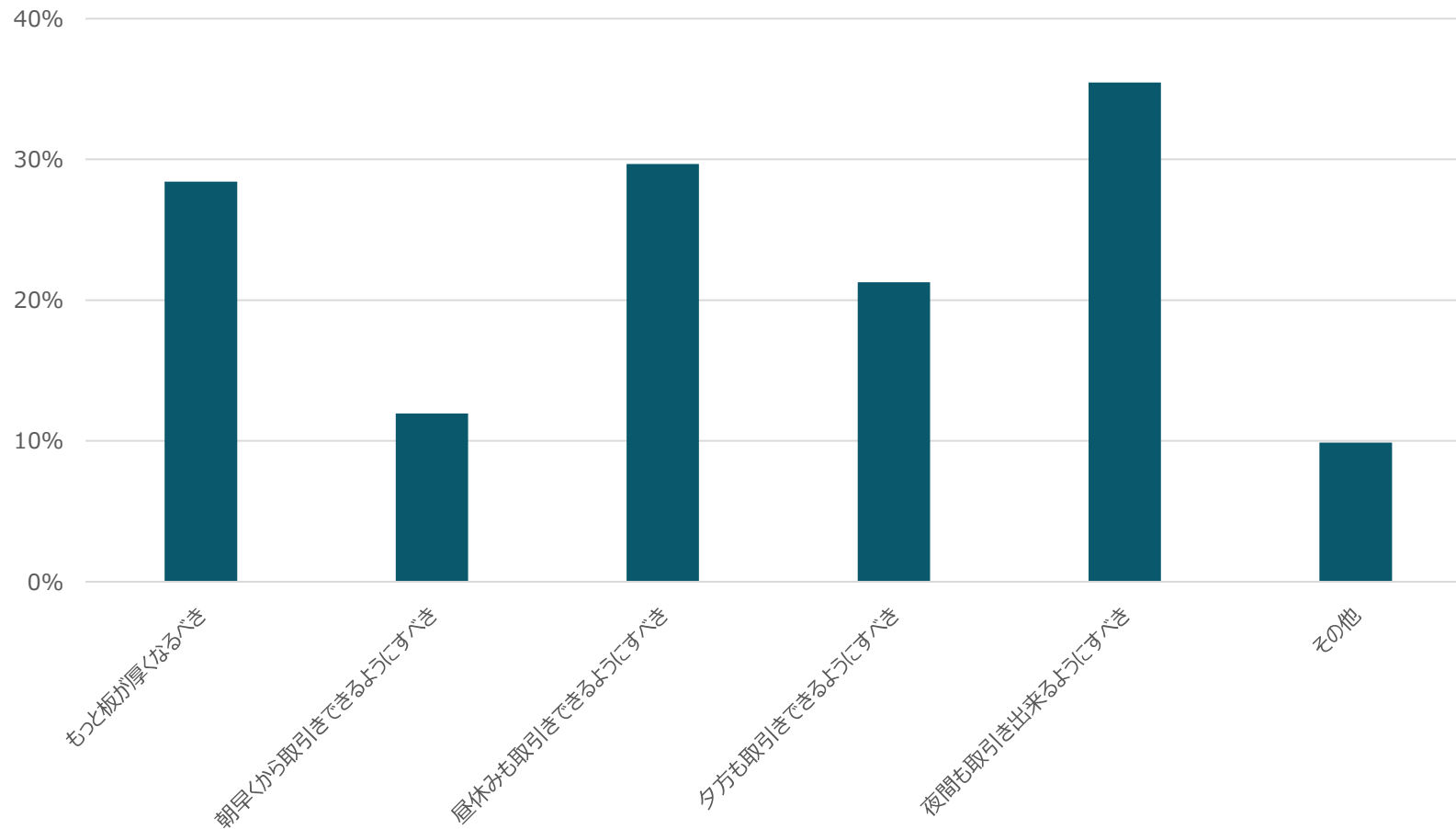
・米国株の高配当ETF
 ・米国セクターETF
 ・物価連動債ETF
 ・インフラファンドETF
 ・エネルギー商品のETF
 ・アクティブETF
 など

東証上場ETF の取引頻度	他にどのような商品が東証市場で売買できるといいと思いますか？					
	バランス型ETF	外国株のレバレッジ・インバース	暗号資産ETF	二酸化炭素排出権ETF	米国上場の個別銘柄	その他
毎日	37%	33%	25%	10%	32%	11%
週に数回	29%	39%	27%	10%	37%	7%
月に数回	31%	31%	26%	10%	43%	7%
年に数回	33%	21%	21%	11%	45%	8%

取引時間についてのリクエスト

- ETFの夜間取引を希望する意見が最多。昼休み・夕方における時間延伸が次点
- より板を厚くすべきとの回答も多い

2024年度後半に東証の取引時間が15時までから30分延長されます。



- 出現頻度が多い単語ほど、大きな文字で表示されるワードクラウドを用いて自由記述欄を分析した結果が以下



- ワードクラウドから得られる示唆

- ✓ 「商品」、「銘柄」、「充実」という記載からETFのバリエーションに関心が高いと言える
- ✓ 「流動性」、「手数料」という記載から利便性向上への関心が高いと言える
- ✓ 「海外」、「米国」という記載から投資する日本株(ETF)以外への関心もうかがえる

- 自由記述欄の記載内容に関して感情分析(ネガティブ/ポジティブ)を行った結果が以下
※対象は自由記述欄に記載のあった2,301件のうち「特になし・なし」など未回答と同等のものを除いた1,701件
 - ✓ ポジティブ88%、ネガティブ12%

- 代表的なポジティブな意見/ネガティブな意見
 - ✓ ポジティブ
 - 外国株ETFはドルに換金せず取引できるので利用しやすいです。これからも魅力的なETFの取引拡大に向け、どうぞよろしくお願いいたします。
 - ETF自体は、個別株とは違った存在感があって、もっと注目されてよい商品だと思います。国別のETFは、特に魅力的だと思います。もっと流動性があれば、なおよいと思います。期待しております。
 - ✓ ネガティブ
 - 日本のETFは流動性が低いと感じます。せっかく良い商品があったとしても怖くて手が出せません。
 - ETFの種類が多すぎて何がなんやら分からない。
 - 信託報酬を下げて、流動性を増やして欲しい。米国株ETFの流動性が低すぎる。宣伝、キャンペーン不足では？コストを下げないと、悪循環に陥るのでは



【本資料に関するお問い合わせ先】

株式会社東京証券取引所

電話：03-3666-0141（代表）

【本資料に関する注意事項】

- 本資料は情報提供のみを目的としたものであり、投資勧誘や特定の証券会社との取引を推奨することを目的として作成されたものではありません。
- 万一、本資料に基づき被った損害があった場合にも、株式会社東京証券取引所（東証）は責任を負いかねます。
- 本資料で提供している情報は万全を期していますが、その情報の完全性を保証しているものではありません。
- また、本資料は、ETF等について平易に解説・記述しておりますが、全ての内容を網羅したものではありません。
- 本資料に記載されている内容は将来予告なしに内容が変更される可能性があります。内容等について、過去の情報は実績であり、将来の成果を予想するものではありません。
- 資料には、作成者の個人的意見も含まれておりますので、全てが東証の公式見解ではありません。